

95. 野菜生活

～ポーアイに農があること～

05168011 今井 優

指導教員 市川 尚紀 講師

バブル、人工島、娯楽、文化、地形、風景

1. コンセプト

80年代バブルと呼ばれた時代、都会では色とりどりのネオンが輝き、華やかな施設が多く造られ、地方ではウォーターフロントやリゾート開発が行われ、人々の心を映し出すかのように娯楽空間が求められた。しかしバブルの時代が終わり、多くの娯楽空間が社会から取り残されていく中、人々には時間を消費してまで娯楽を楽しむということに憶病になってしまっている。

そんな人々に対し、ゆっくりとした時間の中で喜びをつくりあげていく「農」という娯楽が、時間を消費することの楽しさを与えてくれるのではないだろうか。そんな空間を提案したと考える。

計画地であるポートアイランドは、娯楽が求められたバブルの時代に建造された人工島である。建造されてから30年近く立っているにも関わらず、いまだに利用されていない土地が広がっている。そんな土地に市民菜園をつくることで、そこから発生する新たなコミュニティ形成の場が、現代の都市での新たな娯楽空間へと変化し、ポートアイランドの文化を形成していくことを期待する。

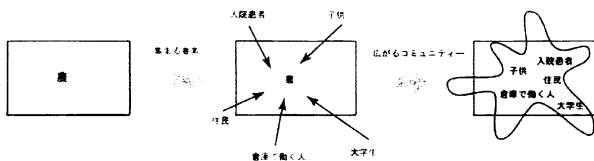


図1 コンセプトダイアグラム

2. 計画地概要

2.1 ポートアイランド

計画の対象地であるポートアイランドは、1981年にウォーターフロントの先駆けとして建造された人工島である。開島当初は人々から注目を浴びていたが、経済の悪化と阪神大震災の影響により、人々の関心は薄くなり、土地の誘致はうまく進まず、現在でも多くの空地が残っている。しかし、近年大学のキャンパスが次々とつくられたことと、神戸空港が建設されたこと

により徐々に活気が回復しつつある。

2.2 計画敷地

計画地はポートアイランドの北西部に位置しており、一部駐車場として利用されているが、ほとんどが空き地である。敷地周辺には近年開設された4つの大学の新キャンパスと市民病院が存在し、最寄り駅である市民病院前駅はポートアイランドで最も利用者の多い駅となっている。

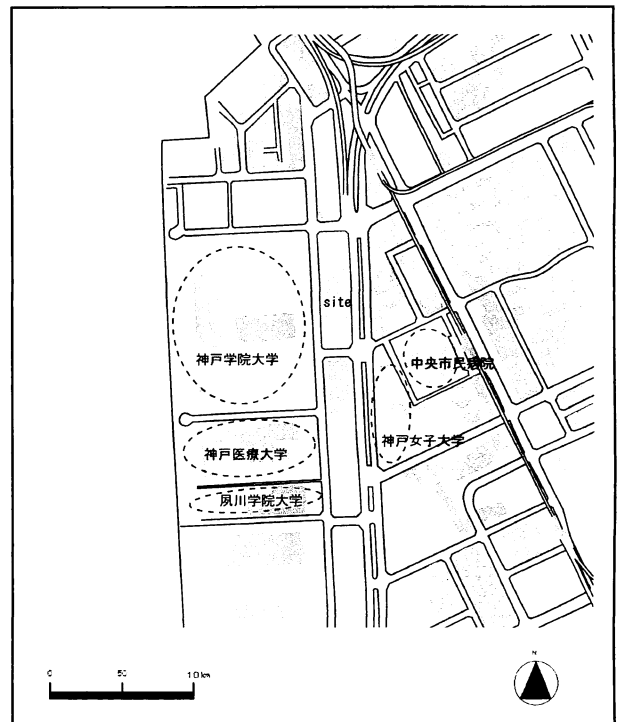


図2 敷地周辺図

3. 計画内容

3.1 農という娯楽

農の『畑を耕す→種をまく→育てる→食す』というプロセスの中で生まれる喜び、季節によって違う作物を育て食すことで味わえる、季節を感じる楽しさを娯楽としてとらえ、ゆっくりとした時間の中で楽しむことのできる空間を計画する。

3.2 市民農園をつくる

現在ポートアイランドに点在している空き地を市民農

Vegetables life

～To Port Island Agriculture exists.～

IMAI Masaru

環境設計研究室

園として利用し、ポートアイランドで生活する人々に貸すことで、この島で生活するためのライフスタイルに多様性を持たせる。そして、その人々が徐々に農園の機能を変えていく。

3.3 生産から消費

市民農園で生産された作物をその場で消費まで行える場をつくることによって、いろいろな人々巻き込み、コミュニティーの形成の場が生まれる。

(1) 調理スペース

畑の空間に調理スペースを設ける。そこには誰もが気軽に利用し採れたての野菜やフルーツをその場で調理することができるキッチンがあり、農の娯楽としての楽しさを際立たすだけでなく、いろいろな人々と一緒になって調理を楽しむことができる。

(2) 食のスペース

調理スペースに隣接するように、作られた料理を食べる空間を設けることで、料理みんなで持ち寄り、同じテーブルを囲んで食事をする。

(3) 商のスペース

自分たちでつくった野菜やフルーツをそこで売り買いしたり、交換しあったりする。

3.4 地形の形成

都市は人間のための場所であり、人間の快適性のみを求めた空間となっているが。ここでは畑を中心にした空間の計画をすることで、ポートアイランドの新たな風景を作り出す。

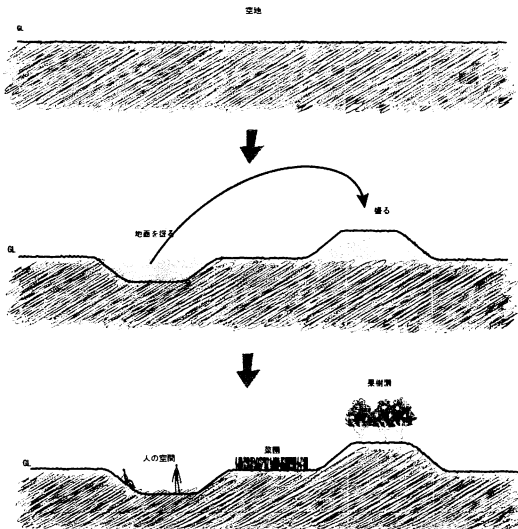


図 3 地形の作り方

(1) 畑とヒトの空間の関係

ヒトの空間を低くすることで、畑におちる影を少なくする。そうすることで畑と人との距離を遠ざけずに畑の環境をできるだけ良いものにする。

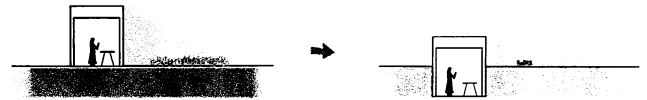


図 4 畑とヒトの空間

(2) 都市の軸の利用

ポートアイランドの都市空間を構成している軸を利用して、畑のスペース、調理のスペース、食のスペースの配置、動線計画、地形形成の計画、畑の配置計画を行っていく。

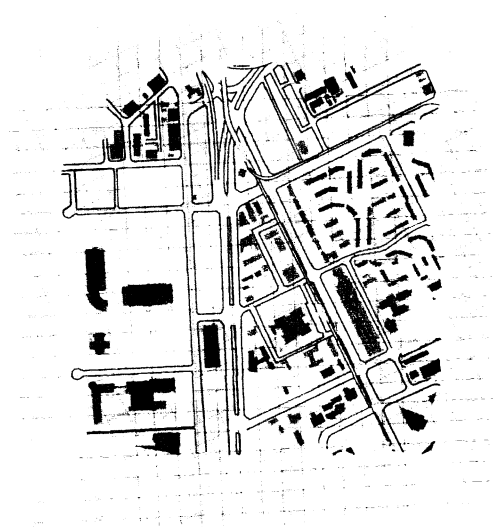


図 5 都市を構成する二つの軸

4. 総括

本計画は都市部ではなかなか味わうことのできない農の娯楽性に着目し、ポートアイランドの有り余った土地の有効活用の方法として市民菜園をつくるという提案である。

これにより、都市で忙しく暮らす人々でも、ちょっとした時間で気軽に農体験を楽しむことができ、そのことを通じて、新たにコミュニティーを形成することができるとともに、ライフスタイルにも大きな影響を与えることとなるだろう。

そして、それはポートアイランドの住民だけでなく、いろいろな人がこのことに興味を持ち、畑を借りることで、有り余った土地が、農という娯楽空間として島全体に広がっていくことを期待する。

建築概要

所在地：兵庫県神戸市中央区 主要用途：農園 構造：鉄骨構造、一部RC構造 敷地面積：